

統計研修講義計画書

研修課程	本科（総合課程）	講義科目	統計分類	講義時間	2コマ
講師	宮川 幸三 立正大学経済学部教授				

※1コマ70分

講義のねらい

本講義では、統計分類の中でも「産業分類」と「生産物分類」に焦点を絞り、両分類体系の理論的な背景を解説すると同時に、世界の中で実際に用いられているいくつかの分類体系を取り上げ、その内容を紹介します。また、経済統計における分類の適用事例にも言及する。これらの理論的背景や分類体系の事例を踏まえ、最終的には日本標準産業分類の性質や位置付けを明らかにする。

指導項目と内容

指導項目	内 容
1. 「産業分類」および「生産物分類」 とは	「産業」・「生産物」・「事業所」といった用語の定義を理解すると同時に、経済統計における「産業分類」や「生産物分類」の重要性を明らかにする。
2. NAICS および NAPCS	アメリカ・カナダ・メキシコの3か国で使用されている産業分類である NAICS および生産物分類である NAPCS について解説する。
3. ISIC・NACE および CPC・CPA	国連が定める産業分類である ISIC、生産物分類である CPC、および EU の産業分類である NACE、生産物分類である CPA の現状や性質、および両者の関係について解説する。
4. 米国経済センサスにおける NAICS・ NAPCS の適用事例	NAICS・NAPCS が、実際の経済統計ではどのように使用されているのか、といった観点から、米国経済センサスの事例を紹介する。
5. 日本標準産業分類	ISIC・CPC あるいは NAICS・NAPCS といった分類体系と比較しながら、日本標準産業分類の特性や位置付けを明らかにする。

講義形態 指導方法	資料を配布し、それに基づいて講義を行う。
受講に必要な 基礎知識等	特になし。